

分
冊
版

彼女に 木乃 われて

先っぽまでって
言ったのに

1



はああああ〜……

これで部活の連中とも
差がつくだろうなあ……

俺の腕には厚く包帯が巻かれている

お医者さんによれば、大した怪我じゃない
との事だったが、部活に戻って激しい運動
なんて到底無理

彼女の有沙も、クラスの女友達と
旅行に行くと言っていた

せっかくの夏休みだが、家に引きこもって
大人しくしているより他になかった

ん？
こんな時に誰だ？

はいはい
今出ますよ、つと……

やっほー！
久しぶり！

奈々美さん……？

なんでウチに？
有沙なら旅行中ですよ

それはね……

……すみません、
こんな事

気にしない気にしない
愛しい妹の頼みなのよ？

それに、あの子の彼氏が
それなりに良い身体の
持ち主だって事も分かったし

鍛えたりしてるの？

ええ、まあ……

いやいや、この密着はまずいって……！

いや、でもっ……

まずい、さっき勃起したから
ポジショニングが……

!?

いやその、これはですね……
えーと、これは……

どーしたの？
ほーら、もっと
ちゃんと腕上げて

あー……
まあ男の子だもんね
ご無沙汰なら溜まってるか



それにしても、
君のこんなに大きいんだ

ちよっ、
なにやってるんですかつ

色々してくれるあの子は
今、いないでしょ？

はあー

ふっふっ

君のお世話を引き受けたんだから、
こういうこともちゃんと責任もって
してあげなきゃでしょ？

流石に有沙を裏切る
ような真似は……

大丈夫大丈夫、
あそこに挿れなければ
浮気にならないわよ

そんな無茶苦茶な

良いから、任せて？

ぺっ

なっ……ちよっ、待って、
奈々美さん!?

しーしー

ダメです……
ダメですって……



どうして？

こんなに気持ち
良さそうな顔してるのに

自分の手でするの
とは大違いでしょ…

息も犬みたいに
荒くしちゃってさ？

奈々美さんっ…！

うあああっ！？



奈々美さん…ちよっ、
本当にマズイですから…

ああっ

大丈夫よ、あの子には
言わないどいてあげるから

そういう意味じゃなくて…

ううあっ



良いから、私に任せて
大人しく感じてなさいっ！
…って

う…くっ…ああっ…！！
それすごい…
うああああっ！！

ふふっ、そうそう…

そうやって君はただ、
射●のことだけを
考えていれば良いの

まさか、
奈々美さんっ……!!

ふふっ、期待してるの
バレバレだよ?

……あむ

ふっ……あむ、んむう……
れう、れるるう……

んむう……これぞ
オスの匂いって感じ……

うぐあっ……

汗で蒸れて、すっごい
強烈な匂いが籠ってる……

ぢぢゅっ、ぢぢゅるる……
んぶっ……あふ……あむ、
ふふっ……逃ふあさないから……

ん……ぢぢゅふ……ふっ、
れう、ぢぢゅるるっ……
んはあっ……あむ、ぢぢゅっ

ああっ、それっ……

啜えながら喋られるの、
ヤバイですって……!

——翌日

えー？
またまたあ……

ぐっ……奈々美さん、
それ……ああっ！

ふいき

ふいき

どうして身体拭いてる時から
そわそわして落ち着きが
ないのかな？

昨日は夜も眠れなかった、
みたいな感じじゃないかな、
なーんて思ってたんだけど？

ビクッ

ド

それはっ……

じ

ねえ……視線、
バレバレなんだけど

あ、いやその……

あーそっか、本当は
手とか口じゃなくて、

胸で気持ち良く
なりたかったんだ……

レツッ……



でもまだ有沙には……っ

んーんー良いの良いの
したい事をするのが一番だもの

ほら……どうかな、私の胸
一応友達には大きい方だって
言われてるんだけど……

これが比奈未さんのおっぱい……!!



んっ……こんな感じかな

ちよっ、
だめですって……!!

ふうーん……

こんなにやる気満々におっ立てておいて、
そういうこと言う?



おっぱいで
喜ぶなんて、

赤ちゃんじゃないんだから、ふっ

うあっ……!!?

んー……カウ●ーは
出てきたけど、

あんまり滑り良く
ならないんだよね……

どうするのが
正解なんだろう

その、唾を垂らして
みるとか……

……な、なんですか

ううん、

なんでも

うっ……奈々美さん、
それっ……ああああっ！

れろ

んっ
これが正解だった
みたいね……

ちよっ……待って、
奈々美さん——

……いッ……
あああッ……！

んっ……ん、はあっ、ふふっ、
そう言われて
待つ訳ないじゃない

ね、このまま出して……

彼女のお姉ちゃんのおっぱいの中に
いっぱい吐き出して……？

しゃーん

ぐうっ……



ダメだっ

これ以上は
我慢しないと

でも……
奈々美さんの
アツコを……
さわつてみたい

今回は、このまま

イケそうな
気がする……!!

くち₄リ

だめえっ!!

思い切り突き飛ばされた。



どうしよう……私、

あのままエッチしても
良くなつて気になつちやつた

私は妹の代わりにお世話してあげてるだけ、
私が気持ち良くなつちやいけないのに

私、一体どうしちやつたんだろう……？



翌日



ううん、

今日は気持ちを
切りかえていかなきゃ！

キッ

というわけで！

今日はね、ちよつと変わった
アイテムを持ってきたの

奈々美さん、
それっ……！

そうだよ？
これはあの子が履いて
いたストッキング。

どう、嬉しい？



でも、そんな物
持ってきたら……

大丈夫大丈夫、
ちゃんと許可は
取ったわよ。

良いから、ほら……
仰向けになつて？



……てつきりストッキングを
手に纏って扱くものだと
思ってたんですけど……

だが、これはこれで中々……。

ね、すべてで
気持ち良いでしょ？



ふふ、
そーら……

えいつ

うあつ……
く……ああつ

ぐっ……あがあっ!?

えー、知らなかったな……君、
そういう性癖だったんだあ……
ふふっ、悪い子



ふわぁあつ……んうつ……
ああああつ!?

ほらほら、ほーらあ……
早く出しなよ、
出したいんでしょ？

この変態っ

ちよっ、待って……
うぐっ……ああっ！
もう出るっ……！！



はあ——……もう、
こんなにドロドロ
にしちゃって……

あの……

奈々美さん!

……お願いします!
もっと……
続き、させてください!

ふふふ……

どきどき

どきどき

……

まあ、そこまで言うなら
……当てるだけなら

あの……それなら、
ちよつとだけその、
試してみるとか……

……

もう、仕方ない
なあ……良いよ

奈々美さん!

今脱ぐから!
本当にちよつとだけ、
先っぽだけだからね!



はぁ

はぁ

んっ……
あはあああつ!

はぁ

うそ……私だって初めてって
訳じゃないのに、んう……

なんで君の●棒、
こんなに気持ち良いの……?

俺だって……うっ……
奈々美さん、これ、
ヤバイですって!



あっ

あっ、はぁあっ……
んんんっ、ふうっ、
うんっ……

あっ

ひあっ……
ああっ……
んう、うあん……

めあん

ね……もう
良いよね



奈々美さん!?!
でもさっき、先っぽ
だけだって……!!

ヌ

ズボ

あはは……やっぱり、
私の方が欲しく
なっちゃった

はぁ はぁ

んああっ!

んんっ……
ああああん!



RIP-Comic

©アパタイト